



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2579 URL <https://www.ccbj-holdings.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) カリン・ドラガン  
問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 コントローラーズ (氏名) 石川 達仁 TEL 0800-919-0509  
シニアグループ統括部長  
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	186,528	2.5	△7,847	-	△3,070	-	△2,877	-	△2,897	-	△1,745	-
2023年12月期第1四半期	182,063	7.8	△9,437	-	△9,160	-	△6,454	-	△6,459	-	△6,350	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△16.14	-
2023年12月期第1四半期	△36.02	-

※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものであります。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	830,376	464,186	464,005	55.9
2023年12月期	844,832	470,021	469,847	55.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	25.00	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	882,400	1.6	10,000	393.8	11,900	245.8	11,100	244.3	6,900	262.6	6,900	268.8	38.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	206,268,593株	2023年12月期	206,268,593株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	26,725,467株	2023年12月期	26,834,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	179,515,498株	2023年12月期1Q	179,339,816株

(注) 当社は、前第2四半期会計期間より役員報酬BIP信託および株式付与信託ESOP信託を導入しております。前連結累計会計期間および当第1四半期連結累計期間において当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式および期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間（2024年1月1日～3月31日、以下「当第1四半期」）における国内の清涼飲料市場は、前期に実施された清涼飲料各社の価格改定による需要へのマイナス影響があったものの、継続する人出の増加等を背景に、数量ベースで前年同期比3%程度増加したものとみられます。また、原材料・資材・エネルギー価格の高騰や円安などが消費行動やビジネスに影響を及ぼすなど、事業環境は引き続き不透明な状況で推移いたしました。

このようななか、当社は、中期経営計画「Vision 2028」の初年度である2024年を「力強く利益を積み上げる年」と位置づけ、利益の最大化を軸としたトップライン成長戦略の実行や、全社横断的な変革の推進によるコスト削減、事業基盤のさらなる強化などに取り組んでまいりました。営業分野では、これまで実施してきた一連の価格改定後の製品価格の維持に努めるとともに、新製品の展開や売場の拡大、効果的なマーケティング活動の実施などに取り組んでまいりました。また、2024年5月1日出荷分より実施の一部製品の価格改定の円滑な実施に向け、カスタマーとの交渉を進めてまいりました。製造・物流分野では、消費地に近い工場での製品製造をコンセプトとした「地産地消モデル」の推進に取り組んでまいりました。製造キャパシティの拡大や柔軟な製造体制の構築を図るとともに、メガDC（Distribution Center）の活用を含めた物流ネットワークの改善などに取り組み、コストの削減とサプライチェーン基盤の強化に努めてまいりました。バックオフィスおよびITの分野では、業務プロセスの標準化や自動化のさらなる推進に取り組んでまいりました。また、2024年1月4日付でアクセンチュア株式会社との合弁会社「ネオアーク株式会社」を設立し、データドリブン経営のさらなる推進に向けた取り組みを開始いたしました。

社会との共創価値に基づくESG目標の実現に向けた活動にも継続して注力してまいりました。水資源保全やPETボトルリサイクルの強化に関し、カスタマーや行政との協業の取り組みを拡大し、循環型社会形成による環境負荷の低減や協業を通じたビジネス機会の拡大を図ってまいりました。社外からの評価としては、国際的な非営利団体であるCDPから、2023年度「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されるとともに、サステナビリティ調査の「気候変動」および「水セキュリティ」の両分野において最高評価「Aリスト」企業に選定されました。また、DE&I（Diversity, Equity & Inclusion）推進の取り組みが評価され、2024年2月に「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・テイルト指数（除くREIT）」の構成銘柄に選定されました。

当第1四半期の業績の詳細は以下のとおりです。2024年5月9日（木）午後1時30分より開催の決算説明会の資料を当社ウェブサイト（<https://www.ccbj-holdings.com/ir/library/presentation.php>）に掲載しておりますので、決算および今後の見通しの詳細は、そちらをご覧ください。決算説明会のライブおよびオンデマンド配信も当社ウェブサイトにて行っております。

業績の概要

(単位：百万円、販売数量を除く)

	2023年 第1四半期 (1-3月)	2024年 第1四半期 (1-3月)	増減率 (%)
売上収益	182,063	<b>186,528</b>	2.5
販売数量(百万ケース)	103	<b>104</b>	0
売上総利益	78,741	<b>81,441</b>	3.4
販売費及び一般管理費	88,002	<b>89,288</b>	1.5
その他の収益(経常的に発生した収益)	186	<b>287</b>	54.1
その他の費用(経常的に発生した費用)	369	<b>302</b>	△18.0
持分法による投資利益	8	<b>16</b>	111.2
事業損失(△)	△9,437	<b>△7,847</b>	—
その他の収益(非経常的に発生した収益)	1,123	<b>5,412</b>	382.1
その他の費用(非経常的に発生した費用)	846	<b>635</b>	△25.0
営業損失(△)	△9,160	<b>△3,070</b>	—
親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	△6,459	<b>△2,897</b>	—

\*事業損失(△)は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

\*販売数量について、一部製品の集計範囲および区分等の変更にとまない、2023年の実績値を遡って修正しております。

連結売上収益は186,528百万円(前年同期と比べ4,465百万円、2.5%増加)となりました。前期に実施した価格改定や3月の天候不順による需要へのマイナス影響があったものの、人出増加により高まる需要を取り込むべく、新製品の展開や売場の拡大、効果的なマーケティング活動などに取り組んだことにより、販売数量は前年同期並みとなりました。また、一連の価格改定の効果として、ケース当たり納価は改善しており、売上収益は前年同期を上回る結果となりました。

連結事業利益は、前年同期と比べ1,590百万円増加(損失が減少)し、7,847百万円の損失(前年同期は9,437百万円の損失)となりました。トップライン成長による利益貢献に加え、変革を通じたサプライチェーンおよびバックオフィスの分野でのコスト削減や、原材料・資材・エネルギー価格の高騰や円安などにより増加するコストを前年同期以下に抑制できたことなどが、収益性の改善に貢献いたしました。

連結営業利益は、前年同期比6,090百万円増加(損失が減少)し、3,070百万円の損失(前年同期は9,160百万円の損失)となりました。これは、主に、事業利益が前年同期と比べ増加(損失が減少)したことに加え、有形固定資産売却益によりその他の収益(非経常)が増加したことによるものです。なお、その他の収益(非経常)は、バランスシートの最適化を進める過程で計上した有形固定資産売却益5,412百万円です。また、その他の費用(非経常)には、抜本的な変革の実行に係る事業構造改善費用367百万円などが含まれております。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益が前年同期と比べ増加(損失が減少)したことなどから、前年同期と比べ3,563百万円増加(損失が減少)し、2,897百万円の損失(前年同期は6,459百万円の損失)となりました。

<販売数量動向（増減率は前年同期比）>

当第1四半期の販売数量は、2023年10月に実施した大型PETボトル製品等の価格改定や3月の天候不順による需要へのマイナス影響があったものの、継続する人出の増加や効果的な営業施策の貢献により、前年同期並みとなりました。また、ケース当たり納価は、一連の価格改定により改善傾向が継続いたしました。

チャンネル別では、スーパーマーケットは、主力製品を中心とした売場獲得活動やキャンペーン実施に取り組んだものの、前期に実施した価格改定や3月の天候不順の影響を受け、販売数量は大型PETボトル製品を中心に減少し、11%減となりました。ドラッグストア・量販店においても、価格改定等の影響を受け、販売数量は6%減となりました。ベンディングでは、3月の天候不順の影響を受けるなか、これまで構築してきたシェア基盤に加え、スマホアプリ「Coke ON」でのキャンペーンの実施や「QR de決済」の展開拡大といったデジタル活用による需要の取り込み策などが奏功し、販売数量は1%増となりました。コンビニエンスストアでは、厳しい競争環境は継続したものの、売場獲得活動やデジタルを活用したマーケティング施策の効果により、販売数量は8%増となりました。リテール・フードサービスでは、飲食店や娯楽施設等における人出の回復などにより、販売数量は7%増となりました。オンラインでは、競争環境の厳しさが続くなか、チャンネル特性に合わせた品揃えの強化や、カスタマーと連携したプロモーションの実施などが奏功し、販売数量は23%増となりました。

清涼飲料の製品カテゴリー別では、炭酸は、飲食店やオンライン等で「コカ・コーラ」が増加したものの、大型PETボトル製品を中心に価格改定の影響を受け数量が減少し、販売数量は前年同期並みとなりました。茶系は、「紅茶花伝」や「綾鷹」の数量増加が貢献し、販売数量は2%増となりました。コーヒーは、2023年5月の缶製品の価格改定の影響を受けるなか、「ジョージア」および「コスタコーヒー」の主力製品のリニューアルや、家庭内需要の獲得に向けた中型PETボトル製品の展開等が貢献し、販売数量は前年同期並みとなりました。スポーツは、小型および中型PETボトル製品は成長したものの、価格改定の影響により大型PETボトル製品の数量が減少し、販売数量は2%減となりました。水の販売数量は、スポーツ同様、大型PETボトル製品の数量減少が響き、6%減となりました。果汁は、飲食店やベンディング等での成長に加え、新製品「ミニッツメイド Qoo 白ぶどう」の貢献もあり、販売数量は11%増となりました。

アルコールカテゴリーは、「檸檬堂」のリニューアルや、ノンアルコール飲料「よわない檸檬堂」の販売強化に取り組んだものの、競争環境等の影響により、販売数量は9%減となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

総資産は830,376百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」）と比べ14,456百万円減少しました。これは主に「現金及び現金同等物」や「有形固定資産」が減少したことによるものです。

負債合計は366,190百万円となり、前期末と比べ8,621百万円減少しました。これは主に「未払法人所得税」が減少したことによるものです。

資本合計は464,186百万円となり、前期末と比べ5,835百万円減少しました。これは主に配当金支払い等により「利益剰余金」が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	113,660	104,408
営業債権及びその他の債権	120,069	113,206
棚卸資産	71,651	75,926
その他の金融資産	88	637
その他の流動資産	8,288	10,177
流動資産合計	313,756	304,353
非流動資産		
有形固定資産	401,687	390,778
使用権資産	23,894	28,282
無形資産	63,819	63,609
持分法で会計処理されている投資	310	326
その他の金融資産	11,898	12,350
繰延税金資産	25,222	25,780
その他の非流動資産	4,245	4,899
非流動資産合計	531,077	526,023
資産合計	844,832	830,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	116,612	114,946
社債及び借入金	40,979	40,986
リース負債	5,267	6,138
その他の金融負債	1,111	949
未払法人所得税	4,176	665
その他の流動負債	29,297	21,071
流動負債合計	197,443	184,756
非流動負債		
社債及び借入金	114,802	114,314
リース負債	20,349	23,501
その他の金融負債	15	6
退職給付に係る負債	19,856	20,548
引当金	1,781	1,757
繰延税金負債	16,757	16,649
その他の非流動負債	3,809	4,659
非流動負債合計	177,369	181,434
負債合計	374,812	366,190
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	451,389	451,367
利益剰余金	88,365	81,270
自己株式	△85,362	△85,015
その他の包括利益累計額	223	1,151
親会社の所有者に帰属する持分合計	469,847	464,005
非支配持分	174	181
資本合計	470,021	464,186
負債及び資本合計	844,832	830,376



(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	182,063	186,528
売上原価	103,322	105,087
売上総利益	78,741	81,441
販売費及び一般管理費	88,002	89,288
その他の収益	1,309	5,698
その他の費用	1,214	937
持分法による投資利益	8	16
営業損失(△)	△9,160	△3,070
金融収益	170	131
金融費用	162	403
税引前四半期損失(△)	△9,151	△3,342
法人所得税費用	△2,697	△466
四半期損失(△)	△6,454	△2,877
四半期損失(△)の帰属：		
親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	△6,459	△2,897
非支配持分	5	20
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	△36.02	△16.14

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期損失(△)	△6,454	△2,877
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	36	827
小計	36	827
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	68	305
小計	68	305
その他の包括利益合計	104	1,132
四半期包括利益	△6,350	△1,745
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	△6,355	△1,765
非支配持分	5	20

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2023年1月1日残高	15,232	451,264	94,209	△85,667	1,177	476,216	142	476,358
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	△6,459	—	—	△6,459	5	△6,454
その他の包括利益	—	—	—	—	104	104	—	104
四半期包括利益合計	—	—	△6,459	—	104	△6,355	5	△6,350
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△4,484	—	—	△4,484	—	△4,484
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1	—	△1
株式に基づく報酬取引	—	121	—	—	—	121	—	121
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	△1	—	1	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	△260	△260	—	△260
所有者との取引額等合計	—	121	△4,484	△1	△259	△4,623	—	△4,623
2023年3月31日残高	15,232	451,386	83,266	△85,668	1,022	465,238	147	465,385

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2024年1月1日残高	15,232	451,389	88,365	△85,362	223	469,847	174	470,021
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	△2,897	—	—	△2,897	20	△2,877
その他の包括利益	—	—	—	—	1,132	1,132	—	1,132
四半期包括利益合計	—	—	△2,897	—	1,132	△1,765	20	△1,745
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△4,486	—	—	△4,486	△17	△4,503
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	△126	—	349	—	223	—	223
株式に基づく報酬取引	—	105	—	—	—	105	—	105
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	288	—	△288	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	84	84	—	84
その他の増減	—	—	—	—	—	—	4	4
所有者との取引額等合計	—	△22	△4,198	347	△204	△4,076	△13	△4,090
2024年3月31日残高	15,232	451,367	81,270	△85,015	1,151	464,005	181	464,186

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは「飲料事業」の単一セグメントのため、報告セグメント別の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。